



萩室老人クラブの人たちが、毎年川場村を訪れる観光客に、美しい川場村を見せようため、心をこめて植栽をしています。



田園理想郷

No. 13
2022.8.1

川場村議会広報
通巻第68号



臨時会・6月定例会	2
補正予算審査特別委員会	
財政を徹底チェック	3～4
一般質問	5～9
総務文教常任委員会視察	10
全員協議会・議会の動き	11
ぼいす・編集後記	12

令和4年4月議会臨時会で、村長から提出された川場村固定資産評価員の選任について、専決処分3件、ほか2件が原案のとおり可決となりました。

■人事

・職員の内異動に伴う川場村固定資産評価員の選任 (全員賛成)

■専決処分

・川場村税条例の一部を改正する条例
地方税法の一部を改正する法律の施行等に伴い、関連する川場村税条例等の一部を改正するもの (全員賛成)

・令和4年度川場村一般会計補正予算(第1号)
歳入歳出それぞれ270万を追加し、総額を36億2千498万円としたもの (全員賛成)

・令和3年度農地耕作条件改善事業 上宿原地区ほ場整備工事の請負契約変更

新拠点エリアの表土をほ場整備内に搬入したこと、ほ場整備北側地区において、石礫が多く発生したため除去したこと、西側農道において軟弱地盤改良のため山砕投入を追加施行したこと等により、契約金額を増加するもの (全員賛成)

■工事請負契約の締結

・令和3年度川場村むらの学習館建設工事
沼田土建株式会社と3億8千500万円で契約 (全員賛成)
・令和3年度川場村交流ホール建設工事
株式会社関工務所と2億8千820万円で契約 (全員賛成)



川場村国民健康保険税条例の一部を改正

令和4年6月議会定例会で、村長から提出された条例の一部改正2件、一般会計補正予算1件、その他2件、報告1件が原案のとおり可決となりました。

■条例

・川場村国民健康保険税条例の一部を改正する条例
新型コロナウイルス感染症により収入減少等の影響を受けた世帯に対する国民健康保険税の減免について期間を延長したいため、条例の一部を改正するもの (全員賛成)

・川場村介護保険条例の一部を改正する条例
新型コロナウイルス感染症により収入減少等の影響を受けた世帯に対する介護保険料の減免について期間を延長したため、条例の一部を改正するもの (全員賛成)

■補正予算

・令和4年度川場村一般会計補正予算(第2号)
歳入歳出それぞれ3億5千39万7千円を追加し、総額を39億7千537万7千円としたもの (全員賛成)

■その他

・損害賠償金の額を定めること(自動車リース契約)
事故に伴う損害賠償金の額を定めるため、地方自治法の規定により、額を確定するもの (全員賛成)
・村道路線の廃止
周辺土地利用の変化により交通の用に供されていないため、村道路線を廃止するもの (全員賛成)

■報告

・令和3年度一般会計繰越明許費繰越計算書

補正予算審査特別委員会

財政を徹底チェック

議会運営の新たな試みとして、補正予算を集中審議

6月6日(月)、議会改革の一環として、補正予算審査特別委員会を特別委員会室において開催しました。

黒田まり子委員長の進行により、令和4年度一般会計補正予算(第2号)の審査が実施され、長時間にわたって多数の質疑応答が行われました。

今後は、補正予算の規模、内容に応じ開催されます。



令和4年度一般会計補正予算

歳入

【星野孝之委員】 庁舎等建設寄付金はどのように募るのか。

【総務課長】 7月の広報、川場村のホームページにて募集予定です。村外の方につきましては、ふるさと納税のシステムを活用したいと思います。募集期間は7月から2月末日で、一口1万円以上で計画しています。

歳出

【津久井俊雄委員】 世田谷区との交流40周年記念イベント委託

料の内容は。

【むらじゅくり振興課長】 50万6千円については、ジャズコンサート開催費、68万円については、スカイラントンを活用したイベント経費です。

【星野孝之委員】 地域おこし協力活動手数料の内容は。

【むらじゅくり振興課長】 地域おこし協力隊が活動するにあたり、畑で農作物の生産を実施しますが、全て手作業で実施しており、非常に困難であるため村民の方に機械で作業をしていたら、経費です。

【星野孝之委員】 新拠点構想推進費の委託料と工事請負費の内容は。

【むらじゅくり振興課長】 委託料ですが、新拠点エリアにおいて

ここに掲載されている質疑は全体から抜粋した一部です。紙幅や読みやすさなどを考慮し、言い回しの調整などを行っています。

群馬県より開発許可をいただいております。その後変更が生じておりますので、変更申請をするための委託費です。工事費ですが、役場庁舎につきましては主に受水槽、消火ポンプの設置によるものです。むらの学習館、交流ホール建設工事は、主に家具備品の設置工事となっております。ボイラー等設置工事は、主にバイオマスボイラー及び太陽光発電施設の設置工事です。複数年に及び補助事業となっております。令和4年度分の工事費を計上しました。

【津久井俊雄委員】 関連ですが、工事の進捗率が低い状況で、多額の補正予算が提出されましたが、進捗状況を精査した上で計上すべきでは。



コンビニエンスストアの誘致

丸山議員 誘致に対する現在の進捗状況は

村長 村内のコンビニエンスストアにつきましては、かつて萩室地内にありましたセブンイレブン、その後、デイリーヤマザキが閉店して以降、コンビニが存在しない状態となり、多くの村民皆様から日常の不便を訴える声をいただいています。

村としては、村民の日常生活の不便を解消すべく、何とか村内にコンビニエンスストアを出店していただけないか、各社にお声がけをし、ご相談をさせていただきま

す。これまでの、出店の検討をお願いした企業としては、セブンイレブン、ファミリー

【新木敏郎委員】 保育士等処遇改善臨時特例事業補助金の内容は。

【健康福祉課長】 こども園に対応する補助金で、国の方針により賃金を向上させるため、補助金を交付するものです。

【角田文雄委員】 地域福祉計画・地域福祉活動計画調査業務委託料の内容は。

【健康福祉課長】 計画期間は終了しておりませんが、1年前倒しでアンケート調査を実施したく計上しました。

【星野孝之委員】 川場村中野地区ブルーベリーの丘整備計画作成業務の内容は。

【田園整備課長】 数年前に整備したブルーベリーの丘が様々な状況により、生育が芳しくありません。「恋人の聖地」の補助事業を活用し、地域と連携しながら、保全及び今後の活用を計画するため計上しました。

【新木敏郎委員】 可搬型介助移動装置借上料の内容は。
【教育委員会事務局長】 階段を

車椅子で移動するための装置です。1台の借り上げを予定しています。

【星野孝之委員】 小中一貫校新築工事設計業務委託料について、多額であるが当初予算に計上できなかったのか、また、その内容は。

【教育委員会事務局長】 3月の時点で計画していた事業計画が変更となったため、当初予算に計上できませんでした。業務内容につきましては、校舎新築の詳細設計、既存校舎改築の設計、地質調査、測量業務です。監督業務につきましては、建築工事を発注してからになります。事業費の概要ですが、新校舎の増築に4億6千万円、既存校舎の改築に2億7千万円、その他業務委託等を含めまして、総事業費が8億7千万円、財源ですが国庫補助金が50%、残りの50%の内90%が起債で、70%が交付税算入予定です。現在、計画段階でありますので詳細設計等実施後、事業費の変動はあり得ます。

マート、ローソン、デイリーヤマザキなどです。

店舗出店につきましては、周辺の交通量、駐車場面積、駐車場への出入口の設定など、各社独自に基準を設けていて、村からも2か所ほど候補地を提示しましたが、いずれも全ての要件が満たされる場所ではなく、合意に至りませんでした。

また、企業側から見込んだ候補地につきましては、土地利用について所有者との合意の見込みが立たず断念という経緯があります。

しかし、村民皆様の生活の利便性向上などを考えますと、何としてもコンビニエンスストアの出店は実現させたいと考えています。建築費軽

減につながる補助事業の活用など、出店基準の緩和につながる提案などを行いながら、根気強く交渉を行っていきます。

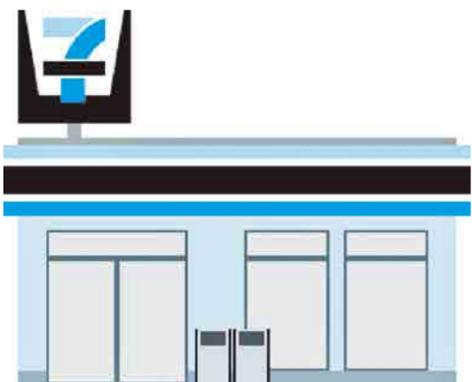
また、現段階、出店に至っていない状況ですが、出店が実現した暁には、周辺の景観に配慮した外観色や木材の活用など、企業側の基準の許される範囲になろうかとは思いますが、地域性を生かした店舗整備を働きかけていく所存です。

丸山議員 利益だけでなく村民の利便性向上を考慮する業者を誘致できないか。

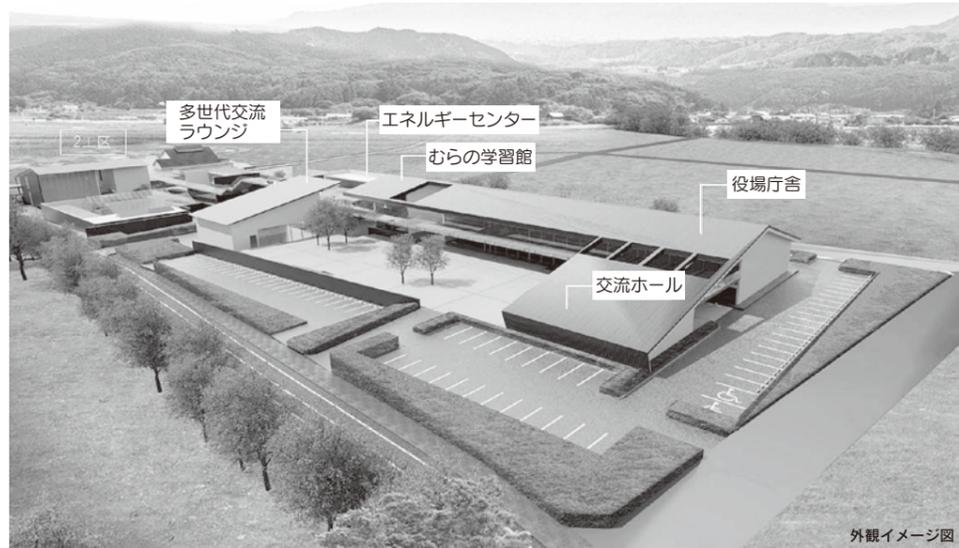
村長 現在、特に交渉を進めているのはセブンイレブンです。セブンイレブン側

【新木敏郎委員】 景観保全型案内板整備工事請負費の内容は。

【むらじゅくり振興課長】 村内に多く存在する集合案内看板で、沼田方面から武尊大橋を渡りきった左側に設置予定です。



が、田園プラザの南側でないと交通量等々を鑑みたときには出店の設置にはかなわないことになると、立岩周辺が一番いい場所だと言われていますが、優良な農振区域の地で、そこに出店をすることになりますと、農地法の解決等があります。しかし、今年の4月1日、武尊大橋が開通しました。間もなく、沼田市のJ/Aアシストから大丸屋製菓さんに向けた道路拡張が始まる予定になっています。この道路が完成しますと、川場村に訪



外観イメージ図

れる動線が変わり、生品の川場大橋に向かってくる観光客が増大する予想がされ、村としては、村の中心地である望郷ラインを挟んで、ただいま役場庁舎を建設している側か、その望郷ラインの南側、そのどちらかに建設をしていただきたいと、先般もセブンイレブン側、また、沼田市で多店舗を経営している経営者と一緒に訪れていただき、最

後の調査をしていただくとともに、村の中心部に建てていただく場合には、村としても、先ほど述べたように、木材を使つた林野庁等の補助金が使えないかとか、また、土地については、いろいろな場面で村も協力はできることで話をしていますので、1日も早く、村民のためにコンビニエンスストアが1店舗、村内設置できよう引き続き邁進してい

く覚悟です。

丸山議員

コンビニエンスストアの入込客は1日何人ぐらいを想定しているか。

村長

正確な1日の見込客は、まだセブンイレブンから聞いていませんが、建設には多額の費用がかかる、その回収を考えますと、1か月の売上げが、1千万円以上なければ困難と伺っています。目

標を達成するには、川場村民以外の、観光客、また、近隣の市町村等のお客様も考慮しなければなりません。その観点からも、複数店舗経営をしている方であれば、沼田市等で非常に利益を上げていけば、川場は赤字では困りませんが、利益が多少でも、慈善事業も考慮した形で出店をしていただきたいと、強く要望をしています。



川場村役場新庁舎建設

星野議員

役場新庁舎の周辺整備、活用についての進捗状況及び今後の見通しは。

村長

役場新庁舎建設事業の進捗状況ですが、令和4年2月7日付、建設工事請

負契約を締結して、現在、基礎工事に取りかかっているところですが、

竣工は、来年秋を予定しています。

新庁舎では、可能な限り川場の木材を活用するととも

役場庁舎は、災害発生時には、必然的に災害対応の拠点となり、災害対策本部が置かれる場所となることから、災害時の機能性や耐震性はもちろんのこと、蓄電池や貯湯槽

を活用した電源や熱源の確保を念頭に置き整備計画を組んでいます。さらに、災害発生時には、庁舎建物だけではなく、敷地全体が避難場所として機能するよう整備をしています。

役場庁舎と同じ敷地内には、エネルギーセンターのほか

に、子供たちが放課後や休日に勉強する場を確保するため、「むらの学習館」や視察の対応や講演など多目的に使用可能な「交流ホール」を建設します。いずれも令和4年4月15日契約を完了し、工事着手をしています。

また、これらの施設が建つ新拠点のエリアは、村民がくつろぎの時間を過ごすことのできる場所を設けたり、簡易な遊

具を設置するなどして、子供たちの笑いの声が聞こえるようなエリアも整備しようと考えています。

将来計画として検討しています第2工区では、大学サテライトや創業支援施設などの構想もあり、産学の研究成果やノウハウの集積、あるいは関係人口の増加につなげていきたいとも考えています。

先ほど丸山議員のご質問でありましたコンビニエンスストアの誘致に関しても、流動的な話ですが、村から提案する候補地にもなり得るのではないかと考えていますので、検討していきたいと思っております。

新庁舎周辺は、百年先を見据えた村の新拠点という位置づけで今後も整備していきま

す。子育て環境の観点からも、遊具の施設の設置は必需だと考えま

たほうがよいと思うが。

村長

ご指摘のとおり、かつて川場村には結婚の森が、現在のサッカー場のところにありまして、そこに遊具等もありましたが、時代の流れによりなくなり、田園プラザ内にはいろいろな遊具があります。田園プラザは、現在、年間200万人以上が訪れる観光の拠点となり、なかなか川場村民が利用することができなくなりました。そういった観点から、村では、子供を育てる環境を重視しまして、子供を育てるなら川場村という理念の元、役場庁舎周辺の新拠点の中には、村民の憩いの場所、また、特に、若いお母さんたちが子供を連れて安心して、安全で過ごせる場所を築いていかなければならないと考えていますので、庁舎建設に伴い、遅れをとらず整備をしていく計画を持っています。



移住・定住の促進は、重要な方策の一つだ



黒田議員 川場村の移住・定住の促進について
村長の方針と現在の課題は。

村長

川場村の現在の人口については、令和2年の国勢調査では、川場村の人口は3千480人です。これは、平成27年の前回の調査と比較すると、167人減少し、4・7%の減少率となります。

また、65歳以上の高齢者が占める割合は全体の45%であります。黒田議員が指摘するとおり、人口減少と少子高齢化が着実に進んでいる状況です。

こういった状況に対応するため、村としては、これまでに、若者世代の村内定住を促進するため、ニュータウンか

わば分譲地販売事業や、分譲地取得に当たったの補助金交付事業、あるいは民間賃貸住宅家賃助成事業、また、子育て世代の生活を支援するため

の子育て支援事業や、中学生までの医療費を無料にする福祉医療制度の実施などを行っているほか、移住促進対策としては、県内市町村と合同で行う移住相談会に参加など、残念ながら今のところ実績がありませんが、国の制度を活用した移住支援金支給事業などを進めています。

村では、村外からの移住の牽引役として役割も期待していますのが、地域おこし協力隊の受入れです。協力隊として川場村に住み、任期終了後も村に定住することを考える

村長

地域おこし協力隊は、3年間の任期中、村内に住み、地域の活性化に関係する事業に取り組みとともに、任期終了後もできれば川場村に住み続けるために、独立して生活するための暮らしの糧を得なければなりません。村では、川場村での活動を希望する協力隊員を積極的に受け入れるとともに、引き続き川場村に定住するための支援を継続していきたいです。

川場村は、他市町村と比較すると、空き家は少ない状況ですが、存在しない訳ではありません。しかし、空き家には、まだ仏壇が置いてあったり、正月やお盆には家族、親族の方が訪れるような状況から、なかなか村に貸していただけるような物件が少ない状況であり、また、賃貸に比べていただける物件は、老朽化が進み、協力隊員が入居しても、すぐ生活がでない状況にあります。そのような関連を踏まえて、担当課で調査等はしていますが、できるだけそういった情報を村にいただければ、積極的に空き家を活用して、外部から村内に転入できる協力をしてまいりたいです。

地域おこし協力隊の制度は、移住定住のための一つの取組ですが、そのほかにも直接的・間接的に移住定住を促進する政策を今後も展開してまいりたいと考えていますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

黒田議員

移住に対し、空き家を積極的に利用するために、村としてはどのような支援を考えているか。

黒田議員

他市町村では空き家への移住に対し改築など支援制度があるが川場村の考えは。

村長

ご指摘のとおり、様々な費用が発生すること

と、移住の先例をつくる役割を担うとともに、村での活動内容や村の生きた情報を発信するなど、協力隊員だからこそ、その発信力を持っていきます。

本年度で3年の任期を終了する協力隊員につきましては、任期終了後も村内に定住したい要望を持っています。そのため、村内に空き家を有している方から、村で活用することはできないかご相談を受けていた物件をその隊員が借り受ける方向で現在調整をしているところです。

また、昨年度任期を終了した協力隊員は、個人的な紹介をきっかけに空き物件を借り受け、村内に定住をしています。

は承知をしています。村としても県等の補助事業等を利用して、金額の上限があります。支援できる補助金等あります。詳細につきましては担当課長から説明申し上げます。

おむらじくり 振興課長

住宅関連の助成ですが、項目で申しますと、例えばリフォームの補助、それから、川場の木を使用した住宅の建設に関する助成、太陽光の設置、木質のストーブの設置等、住宅関連でも助成はしていますので、ご活用いただければと思います。また、協力隊が独立して住宅を借りる場合には100万円程度の助成も出るようになっていきます。

黒田議員

ニュータウンかわばにおいて移住者が増加しましたが、第2のニュータウンかわばの様な構想はあるか。

村長

ニュータウンにつきましては、14軒の方が村

外から移住し、現在、生活をしている状況です。

第2弾と考えますと、現在、村で所有している土地は、旧農協の跡地があります。有効利用できるかは、これから検討していきますが、学校等に近い場所でないこと、村外から移住も難しいこと、土地も安価でなければならぬことであり、その辺りを総合的に考慮しながら、村としても空いている土地等を活用できないか、検討したいと思えます。



JA跡地

～行政視察報告～

◆ 視察の期日

令和4年6月27日(月)・28日(火)

◆ 視察の場所

27日 新潟県糸魚川市駅北広場

28日 新潟県三条市教育委員会



糸魚川市駅北広場 キターレ

糸魚川市駅北復興とまちづくり

平成28年12月22日～23日にかけての糸魚川市駅北の大火事から6年。早期復興を目指す市民・地域・事業者・行政の協働のまちづくりを視察してきました。「災害に強いまち」「にぎわいのあるまち」「住み続けられるまち」の3つの方針を掲げた復興まちづくりは被災者・事業者・市民が自ら主体的に取り組むために多くの意見を聴くことから始められ、広い視点で計画が検討されその計画に基づき今も復興が進められています。

三条市の小中一貫教育の取組と今後の展望

三条市は小中一貫教育に取り組んで14年、市内全域での小中一貫教育が行われて10年目になります。三条市では平成19年から23年にかけて、不登校の児童生徒が小学校高学年から増え始め中学1年生で急増するという現状があり、その背景には核家族化・少子化・地域コミュニティの減退などの社会構造の変化があるのではないかと考え、4・3・2制の教育期区分による小中一貫教育が進められてきました。特に小5、小6、中1の中期を重要な期間と位置付け、子どもたちが成長する上で大切な根っこをつくる時期として意識的に取り組んでいました。



三条市教育委員会

(総務文教常任委員長 黒田まり子)

利根郡町村会

本村議会から3名の議員が表彰された

令和4年7月27日(水) 場所：利根沼田文化会館

利根郡町村会において、利根郡町村会自治功労者並びに永年勤続功労者表彰式が行われ、自治功労者表彰において、本村議会から丸山敏雄議員、飯塚貞次議員、角田宣治議員が、在職10年以上の長きにわたる功績を讃えられ、表彰されました。



丸山敏雄 議員



飯塚貞次 議員



角田宣治 議員

川場村議会 全員協議会

令和4年6月2日(木)に全員協議会を開催し、村長・副村長・教育長及び担当課長出席の下、十分な検討・説明を受けました。

1. 損害賠償金の額を定めることについて(自動車リース契約)
2. 新型コロナウイルスワクチン接種4回目について
3. 二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金について
4. 世田谷川場縁組40周年記念事業について
5. 川場浄化センター電気機械設備更新について
6. 村道路線の廃止について

議会の動き

5月

- 11日 川場村文化協会総会
- 12日 川場村遺族会役員総会
- 16日 利根沼田国民健康保険運営協議会長連絡会総会
利根沼田広域市町村圏振興整備組合消防運営委員会
利根郡町村議会議長会定例会
利根沼田広域市町村圏振興整備組合定例議員協議会
利根沼田学校組合議会議員協議会
利根郡スポーツ協会総会
- 20日 群馬県町村議会議長会理事会
- 21日 学校林下草刈り
- 23日 川場村土地開発公社理事会
川場村観光協会定期総会
- 24日 川場村商工会通常総会
- 25日 田植祭
- 26日 議会運営委員会
群馬県町村議会議長会臨時総会及び町村議会議長研修会
議員の定数及び報酬調査特別委員会
- 27日 川場村スポーツ協会理事会
利根地方総合開発協会定期総会
利根沼田学校組合議会臨時会
- 30日 全国町村議会議長、副議長研修会

6月

- 2日 議会全員協議会
川場村社会福祉協議会理事会

- 3日 第4回議会定例会(初日)
総務文教常任委員会
- 6日 補正予算審査特別委員会
産業振興常任委員会
- 7日 片品村 武尊山山開き式
- 8日 第4回議会定例会(最終日)
議会広報特別委員会
- 27日～28日 総務文教常任委員会視察研修(新潟県)
- 29日 川場村 武尊山山開き式
議員の定数及び報酬調査特別委員会

7月

- 5日 川場村民生委員推薦会・研修会
- 8日 群馬県未来構想フォーラム
- 11日 利根郡町村議会議長会定例会
利根沼田広域市町村圏振興整備組合定例議員協議会
沼田・利根地区新高校開設準備意見交換会
- 12日 (仮称) 戸倉ダム建設促進期成同盟会設立総会
- 19日 議会広報特別委員会
- 20日～21日 産業振興常任委員会視察研修(福島県)
- 22日 群馬県町村議会議長会理事会
- 27日 利根沼田広域市町村圏振興整備組合議会定例協議会
沼田市外二箇村清掃施設組合臨時議会
利根沼田学校組合議会協議会
利根郡町村会自治功労者並びに永年勤続功労者表彰式
- 28日 議員の定数及び報酬調査特別委員会

利根郡町村議会議長会会長に角田文雄議長が選任

令和4年5月16日(月) 場所：利根沼田文化会館

利根郡町村議長会の総会において、役員の変更が実施され角田文雄議長が会長に選任されました。

群馬県町村議会議長会副会長に角田文雄議長が選任

令和4年5月26日(木) 場所：群馬県市町村会館

群馬県町村議会議長会の臨時総会において、役員の変更が実施され角田文雄議長が副会長に選任されました。



角田文雄 議長

高齢者が明るく楽しい生活が送れるように

川場村老人クラブ連合会長 **砂山芳夫**さん



今年の6月本来なら梅雨の時期ですが非常に暑い日の連続です。前橋市や伊勢崎市では40度以上、川場村でも40度に迫る猛暑が記録されてまさに異常気象の日が続いております。

さて。私、令和4年4月より会長を引き継ぎました。本会は、「川場村に居住する高齢者が明るく楽しい生活が送れるように努力し、生きがいと健康づくりのための諸事業を行い、会員相互の親睦を深めるとともに、高齢者の福利増進を図ることを目的とする。」とありますが、一昨年にコロナウイルス感染症が猛威を振るいかつてない生活状況に日本のみならず全世界（感染者数547,485、773人・死者数6,335、831人ネット調べ）が追い込まれ多くのイベントは当然のこ

と禁止、外出時や家の中においてもマスク着用、会社や飲食店は営業自粛、等々生活環境が一変し、老人クラブもその渦の中に入って多くの活動が制限され自粛中です。1日でも早くそのような状況から解放されて本来の活動ができる日を念願し、マスクを着用しなくも平常の生活ができることを望んでいます。

山紫水明の素晴らしい環境の中に住む私たち高齢者は健康に留意し、微力ではありますが社会貢献できるよう努力してまいります。

編集後記

ようやくコロナ禍も下火になってきたかと思いきや、この原稿を書いている時点で第7波という言葉が飛び交い始めました。新型コロナウイルスが世に知られてわずか数か月のころ、「人類はこれからずっと、インフルエンザのようにコロナとつきあうことになりま

すよ」と言っていた某医師の慧眼に思いがたりました。

一方、外に目を向けると、他国に侵攻する無法国家あり、他国の領海を我がもの顔で航行したり資源を調査したりする強欲国家ありと、相変わらず物騒な情勢が続いています。私は常々そんなことを思いながら、川場村は素晴らしい村であると感じていました。平和であり、地理的にも優れているし、風水害も皆無であるなど、気候風土も素晴らしいと思っております。米をはじめとして農産物も天下一品です。

そして今後、新庁舎をはじめとしてさまざまな施設や制度が整備されていきます。ますます明るい未来が開けて行く川場村に思いを馳せつつ、編集作業をおこなっています。
(編集委員 新木敏郎)



委員会広報

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 丸山 敏雄 |
| 副委員長 | 津久井俊雄 |
| 委員 | 黒田まり子 |
| 委員 | 角田 宣治 |
| 委員 | 新木 敏郎 |